

D. 考察

調査の結果は次のようにまとめることができる。入院・外来で大きな差はないので以下総数の多い外来患者での数字をあげる。

- 1) 病気の時の安静については「病気を早く治す基本だと思う」60.9%であったが、同時に「原則として安静は必要最低限にすべきと思う」も54.2%であった。
- 2) しかしこれまで医師から「安静をとるように」と指示されたことがある人は35.9%にとどまっていた。
- 3) 安静の害があると思う人は25.4%であった。
- 4) 逆に現在どの程度動いてよいかを医師から指導を受けていたのは53.7%であったが、指導の内容は制限的（「無理に動かないように」等）なものがこのうち18.4%であり、漠然とした指導（「なるべく動くように」等）が14.5%、具体的な指導は23.2%であった（複数回答あり）。
- 5) 「廃用症候群」という言葉を知っていたのは16.3%であり、知ったきっかけは「本や雑誌で」が6.6%で最も多く、その他講演会などであり、医師等の医療職から説明を受けたのは合計4.5%にとどまっていた。
- 6) リハビリテーションとは何をするものかについては「歩行訓練」61.1%、「関節を動かす訓練」60.9%であり、活動向上訓練についての認識は乏しかった。

以上から廃用症候群についての認識は極めて不十分で、今後その啓発が重要であり、また今回の調査は今後の意識変化をみるためのベンチマークとなりうるものと考えられる。

E. 結論

訪問リハビリテーションにおいては実生活での活動向上と同時に、廃用症候群への働きかけ（生活全体の活発化）が重要である。そのため訪問リハビリテーションが十分な効果をあげるためには利用者・患者、また医療・介護従事者がリハビリテーション・廃用症候群などについての正しい認識を共有していることが重要である。

何らかの疾患をもつ病人（患者）は廃用症候群を生じやすい。そのため、患者の廃用症候群に関する認識の現状と問題点を把握するために、病院の入院患者と外来通院患者における廃用症候群とリハビリテーションに関する意識調査を行った。

その結果、一般患者において廃用症候群及びリハビリテーションへの認識には正しい面もあるが、まだ誤った面が根強く残っているのが現状であり、今後の啓発が必要であることが明らかとなった。

F. 健康危険情報

特になし

G. 研究発表

1. 報道等

・大川弥生：「介護における科学性と人間性の両立」；目標指向的介護の実践. 介護福祉社会ニュース. 12月15日号

啓発活動例：NHK生活ほっとモーニング（2002年5月28日 8:30～9:30）

- 1) 主任研究者（大川）及び分担研究者（中村茂美）による長期フォロー例についての事例紹介
- 2) 主任研究者のスタジオでの解説。

内 容：

- ・リハビリテーションが画一的な機能回復訓練ではなく、一人ひとりの個別性・個性的な目標を明確にした目標指向的なものであり、基本となる基本技術は活動向上訓練であることを、具体的な事例をもとに説明。
- ・訪問リハビリテーションについては身辺ADL以外についても
 - 1) 家事訓練の重要性、家事援助サービス前の必要性
 - 2) 住宅改修（手すり、段差解消、等）前の活動向上訓練の重要性 を指摘した。

上記1)、2)は介護保険上多くの割合を占めている家事援助、また急激に増加している住宅改修の実施前に活動向上訓練を行う必要性を強調し、それによって利用者の生活（ICFの活動）・人生（ICFの参加）向上とともに、介護保険の経済的面、また社会資源の有効活用に効果的なことを示した。

番組に対する反響としては、専門家・利用者本人・家族ともに訪問リハビリテーションは重度な人への機能障害レベルへのアプローチ（例：関節可動域訓練、基本動作としての歩行訓練）と思い込んでおり、活動向上訓練の効果・必要性についての新たな認識が非常に多かった。

なお今年度末に明らかになった介護報酬改定では、本番組で示したような活動向上訓練について「活動向上訓練加算」が新設された。

住宅改修前の実用歩行訓練



家族が手すりを設定したが、実は柱へもたれかかる実用歩行訓練によって手すりは使用せずにあがりかまちを昇降できる。
手すりはむしろ邪魔になったり、手すりのある場所にしかいけないことになる。



炊 事



炊事が可能になることで家庭内での役割もできることで主観的生活機能も向上。



洗濯



洗濯物を片手で干す訓練



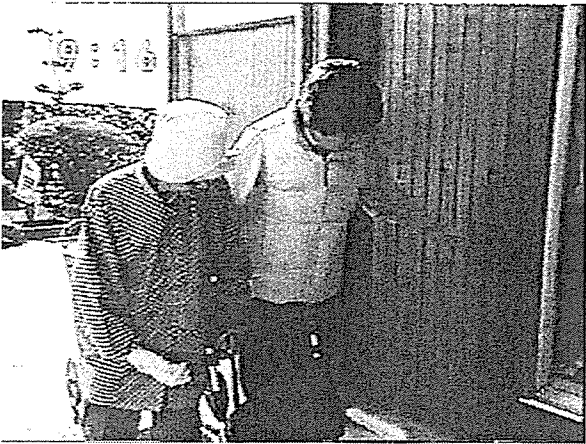
シルバーカーを使って、取り込んだ洗濯物を運ぶ訓練



シルバーカーの中に取り込んだ洗濯物を入れる訓練



シルバーカーを押して部屋まで移動する訓練



シルバーカーの置き方（位置等）を具体的に指導